

「KYOTO STEAM-世界文化交流祭-prologue」実施概要

- 開催期間 : 2019年3月21日(木・祝)～3月31日(日)
- 会場 : 岡崎をメインとした京都市内(ロームシアター京都、世界遺産・元離宮二条城、他)
- プログラム

タイトル	日時	会場	概要
STEAM THINKING—未来を創るアート 京都からの挑戦 「アートコンペティション・プレビュー」	2019年 3月21日 (木・祝)	ロームシアター京都 ノースホール	企業の技術力と芸術の創造力によって、これからの社会の課題を解決するアイデアを世界から求め、作品を通して提案を行う、次世代の芸術家に向けたアートコンペティション「STEAM THINKING—未来を創るアート 京都からの挑戦」のプレビュー。招待作家・鈴木太郎氏のコンセプト作品の展示とともに、制作にあたり協力いただいた企業関係者とのトークセッションを展開。
STEAM THINKING—未来を創るアート 京都からの挑戦 「トークセッション」	2019年 3月21日 (木・祝)	ロームシアター京都 ノースホール	「STEAM THINKING—未来を創るアート 京都からの挑戦」の第2部として「新猿楽記・Revision～序～」の制作に携わる演出家 高橋浩、舞台美術家 小林ともえ、俳優・人形遣い Simon Moers(シモン・ムール)をパネリストに招き、S・T・E・A・Mに込められた科学と芸術の融合をテーマにしたトークセッションを開催。
古典文学×伝統芸能×メディアアート 「新猿楽記・Revision～序～」創成プログラム始動!	2019年 3月21日 (木・祝)	ロームシアター京都 ノースホール	『新猿楽記』に描かれた「猿楽」に代表される文化の作り手と、それを支えた文化の担い手である京都の庶民。双方の相関関係をフィルターに、京都の文化創成のプロセスから発現された豊饒なイメージを、古代から現代、未来を繋ぐアートパフォーマンスで創造するプログラム「新猿楽記・Revision～序～」の制作発表レセプションを開催。
インタラクティブメディアアート体験プログラム 「触れる地球」	2019年 3月21日 (木・祝)	ロームシアター京都	生きた地球の姿をリアルタイムに感じることができる、世界初、次世代型デジタル地球儀「触れる地球」。衛星とリンクした「今の地球」や、地震・台風の発生、大気汚染、地球温暖化のメカニズム等、地球規模の課題を誰にでも理解できる形で提示。KYOTO STEAM-世界文化交流祭-の理念を体現するコンテンツとして展示。
アート×サイエンス IN 京都市動物園 アートで感じる? チンパンジーの気持ち	2019年 3月23日 (土)	京都市動物園 レクチャールーム	ヒトに最も近い動物: チンパンジーが感じる映像作品とは何かをテーマにしたアートとサイエンスのコラボレーションプログラム。アーティストがチンパンジーのために映像作品を制作し、その映像作品をサイエンティストがアイ・トラッキングを用いてチンパンジーに見せる実験を実施、その成果を発表。
ダムタイプ 新作ワークインプログレス 2019	2019年 3月24日 (日)	ロームシアター京都 サウスホール	1984年に京都市立芸術大学の学生を中心に、映像、絵画、建築、デザイン、コンピュータ・プログラミングなど異なる背景をもつメンバーによる、脱中心的な組織として開始したアーティスト集団「ダムタイプ」。プロジェクトに応じて複合的な活動形態をとる彼らが、2002年発表『Voyage』以来となる新作に向け、ワークインプログレスを実施。
アート×フードマーケット	2019年 3月23日 (土)・24日(日)	ロームスクエア、パークプラザ	「食」を通じてアート×サイエンスを感じ多くの人が楽しめるマーケットを開催。こだわりのフードやアイテムの店店はもちろん、子どもから大人まで参加できるワークショップや、「食べる」ことを見直すトークイベントなど、多彩な仕掛けで「おもてなし」。
伝統芸能×新技術 能楽「天狗の恩がえし」	2019年 3月30日 (土)・31日(日)	世界遺産二条城 台所	能楽団体、IT関連事業者等と協同し、能楽公演の新しい体験方法を試みる取組。世界遺産二条城台所を舞台に、CGなどによる表現の拡張や解説ビジュアル情報を、実演進行に合わせてリアルタイムに表示するシステムを構築し、演目内容や登場人物などの解説により、観客の能楽に対する理解を支援する。